

授業概要

小学校教育における生活科の意義や創設の趣旨を理解し、生活科教育の理論や実践事例を通して、生活科の実践的な指導力が身につくように指導する。そのために具体的な指導方法や授業実践を紹介しながら、生活科の目標・学習内容・単元づくりについて講義し、実際に学習指導案作成・模擬授業を行っていく。

学習指導案の検討や模擬授業の体験活動やグループワークでは、協働的な学びの体験を通して自己表現力を高めたり他者への共感やコミュニケーション力を高めたりしていく。生活科における情報機器の活用についても理解を深め、ICTを活用した授業構成を理解したり必要な技能を高めたりできるように授業する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス（授業の目的と進め方、生活科の創設について知る）
第 2 回	生活科の教科目標、学年目標、体験活動
第 3 回	生活科の内容構成（3つの階層性と9つの内容について）
第 4 回	内容の取扱いについての配慮事項
第 5 回	接続期の教育について① スタートカリキュラムについて
第 6 回	接続期の教育について② アプローチカリキュラムについて
第 7 回	ICTを活用した生活科の授業展開
第 8 回	子どもの表現と生活科の学習評価
第 9 回	生活科の単元構成と指導計画
第 10 回	学習指導案の作成①（単元を決め学習指導案を作成する）
第 11 回	学習指導案の作成②（学習指導案を発表し合い、意見交換を通して学習指導案の検討をする）
第 12 回	模擬授業①（模擬授業を実施し、授業の流れや改善案を考える）
第 13 回	模擬授業②（模擬授業を通して学習評価のあり方を考える）
第 14 回	模擬授業③（授業要素についての学びを深める）
第 15 回	講義のまとめ（児童理解と生活科、教師の支援とは）
第 16 回	学期末試験（筆記試験）

到達目標

- ・小学校における生活科教育の意義、目標、指導内容についての理解ができる。
- ・接続期の教育における生活科の役割を理解し、接続期カリキュラムについて理解できる。
- ・生活科の具体的な授業イメージをももち、学習指導案を作成したり模擬授業を行ったりできる。
- ・生活科におけるICTを活用した授業のあり方について理解することができる。

履修上の注意

- ・講義を聞くだけでなく、実際の授業づくりの演習を取り入れた授業であるので、協働的に学ぶ姿勢を大切にすること。テキストは毎回持参すること。
- ・授業を欠席した場合は、その日の授業内容や課題の把握に努めること。

予習・復習

- ・シラバスを確認する以外にも、授業で次回の講義についての予告をするので、事前に必ずテキストをよく読み、講義内容が理解できるように予習しておくこと。
- ・復習として授業でとったノートを整理し、自分の言葉で学んだことをまとめておくこと。
- ・予習、復習共に必ず毎回30分以上の時間をかけること。（質問等あれば次回の授業で対応します）

評価方法

- ・受講態度や授業の振り返りコメント 20%
- ・課題レポート 20%
- ・学期末試験 60%

テキスト

- ・教科書名：小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 生活編
- ・著者名：文部科学省
- ・出版社名：東洋館出版
- ・出版年（ISBN）：2018年（978-4-491-03464-5）